

2021年7月28日

## 米アイ・ピースとのiPS細胞作製・保管サービスの 提携に関するお知らせ

当社は、米アイ・ピースと連携し、個人向け医療用iPS細胞の作製・保管サービスを推進することといたしましたのでお知らせいたします。

当社グループが推進する細胞バンク事業「iCELL BANK」（アイセルバンク）において、当社グループが持つ全国2,245の提携医療機関ネットワークを活用してiPS細胞作製・保管サービスを国内各地に広げてまいります。提携医療機関では問診および採血を行い、採血した血液をアイ・ピースの日本子会社アイ・ピース株式会社が持つiPS細胞製造施設（京都市）に送付し、アイ・ピースがiPS細胞の作製と作製後の保管を行います。（本年10月サービス開始予定）

当社グループの医療機関ネットワークを窓口として活用することにより、各医療機関において当社グループのCRC（Clinical Research Coordinator）がiPS細胞の作製・保管を希望する個人顧客をサポートし、より簡便に説明、問診、採血などが受けられるようになり、顧客の皆様により身近な拠点でサービスを受けていただくことが可能になります。アイ・ピースが保有するiPS細胞製造施設は、厚生労働省より特定細胞加工物の製造許可を取得し、医療用途を前提とした厳格な管理体制の下で製造しており、日米両国の規制にも適合しています。（アイ・ピースについて <https://ipeace.com/>）

当社は、自分のiPS細胞を作製・保管し、将来、病気にかかった際に保管しているiPS細胞を用いて再生医療やオーダーメイド医療等に活用することができる、個人向けの医療用iPS細胞バンキングサービス「iCELL BANK」を推進することで、安心して健やかな未来の実現を目指します。